

# 事例1 学校図書室との複合

## 阿賀野市立水原中学校市民図書室

平成26年4月にオープンした、水原中学校の一部を一般市民に開放した県内初の学社融合施設。

一般図書室はじめ、郷土コーナー、絵本コーナーなど広々とした空間になっている。

中学生と共用の図書閲覧コーナーもあり、学習スペースとしても充実。

〈出典：阿賀野HPより〉



## 全国の動向 カレントアウェアネスNo.338 2018年12月20日より

・学校図書館法には「学校図書館は、その目的を達成するのに支障のない限度において、一般公衆に利用させることができる」とあり、その動きの中で学校図書館の地域開放が始まった。

・既存の学校図書館を利用する場合、管理区分を明確にするのが難しく、大人にとっての魅力ある蔵書の構築、管理者、司書(職員)の配置の必要性、市の図書館ネットワークへの組み込み等が課題として指摘される。



・司書配置、新規購入費用の確保、開館時間対等の運営体制、単独施設では得にくいスペースの充実や交流の創出、安全確保のための管理区分、上下足区分等の施設計画、図書館ネットワークへの位置づけ等、その意義と効果を高めるための検討が必要。

**あまり成功事例を聞かない状況**

# 事例2 指定管理・民間委託

## 新潟県内(指定管理)

長岡市・・・中央図書館を除き分館(6か所)は指定管理  
三条市、見附市、燕市、妙高市、刈羽村

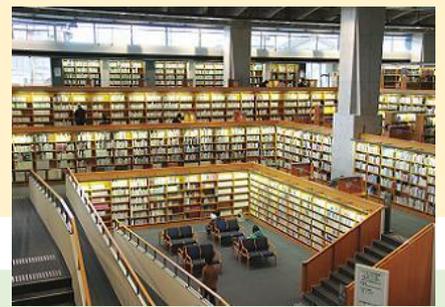
指定管理から直営に戻した図書館  
南魚沼支図書館、十日町図書館

## 業務委託

新潟市の一部、十日町市、南魚沼市



写真：見附市  
セルフ貸し出し(市HPより)



写真：十日町図書館(市HPより)

## 全国の動向(令和3年度社会教育調査より)

全国の図書館：指定管理導入率18.9%(平成30年度 15.6%)

全体的には増加傾向。主な受託先は、民間企業(図書館流通センターなど)、NPO など

## 図書館の指定管理制度

### メリット

- ・民間事業者等の創意工夫による開館時間の延長や開館日数の増加のような住民サービス向上の両立が期待される。

### デメリット

- ・経費の増加、専門的知識の欠如、指定管理者についての認識不足。
- ・指定期間の設定が概ね3～5年と短く、次回も指定されるとは限らないため、職員の安定した身分の確立が保障されず、サービスの維持・向上を果たす上での職員の基層における影響が避けられない。
- ・指定管理の更新により賃金の上昇等に伴い、経費が削減されない。
- ・図書館利用の無料の原則から指定管理者側の事業収入が見込めないため、サービスの拡大発展を期待することが困難。

# 事例3 ICT関連、無人図書館対応

## 新潟県内

### ○ 村上市図書館 荒川・神林・山北図書室

- ・ 21時まで開館しており、貸出機で貸出。
- ・ 専任の職員配置はなく、公民館職員が兼務。



予約本受取りコーナー



データベース

### ○ 長岡市立互尊文庫

- ・ ICタグによるセルフ貸出・返却
- ・ 予約図書も予約本受取機で確認し、セルフ貸出



貸出機



検索機

## 課題

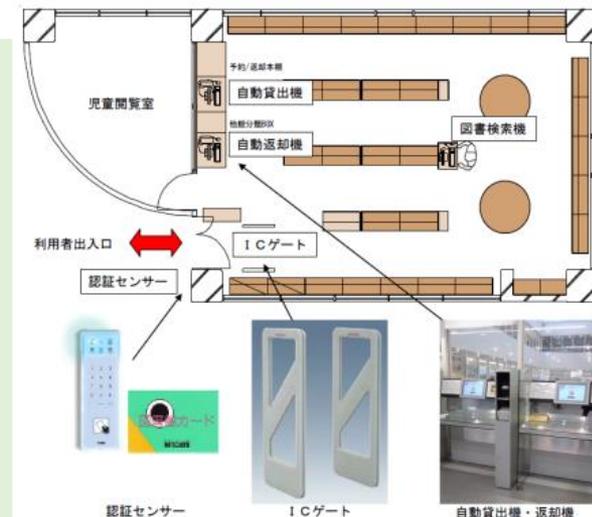
図書の置き間違いなど問題が多発している。  
レファレンスサービス（調査相談）を受けられないので  
図書館サービスを十分に享受できない。

写真：長岡市立互尊文庫HPより

## 全国の動向

### ○ 秦野市「スマートライブラリー」 2015年度～2カ年の実証実験

- ・ 将来にわたって持続可能な公共施設サービスを維持する「公共施設再配置計画」の一環として、利用者自身が図書の貸出・返却手続を行えるように、入退室ゲートと貸出・返却機を本町公民館の図書室に試験的に設置。
- ・ 入退室ゲートと貸し出し・返却の機械。既存の図書館カードにバーコードを付加すれば入室でき、ICチップを埋め込んだ蔵書を機械に読み取らせ、セルフサービスで手続を行う。
- ・ 図書室内に職員は常駐せず、インターホンで公民館事務室へ操作方法等の質問が可能。
- ・ 市役所敷地内のコンビニで、図書返却受付。（公民連携PPP）



秦野市公共政策技法研修配付資料より  
まほろば秦野通信より

### ○ 有田川町図書館

- ・ ウォークスルー型自動貸出システム（2019年～）

# 事例3 ICT関連、無人図書館対応

**電子図書館** 新潟県立図書館、新潟市、燕市で導入

## 〈にいがた市電子図書館〉

### ここが便利

- ・貸出カード・パスワード登録後は、図書館に来なくてもスマートフォンやタブレットで利用できる。(24時間365日)
- ・返却日が過ぎると自動返却されるので、返し忘れもない。
- ・文字の大きさを変えることができ、音声読み上げができる書籍もある。

### 貸出点数・期間

貸出点数：3点まで 貸出期間：2週間（予約がなければ1回延長可）



にいがた市電子図書館HP

# 事例4 移動図書館

移動図書館とは、図書館の本を自動車に載せて、図書館を利用しにくい地域の人のために各地を巡回して図書館のサービスを提供する仕組み

## 佐渡市

図書館より遠隔地域（高千、海府、前浜、松ヶ崎・羽茂大崎）に向け、月1回運行。

## 新潟県内

県内導入事例 長岡市、三条市、柏崎市、村上市、聖籠町、五泉市

## 全国の動向

公立図書館の施設の充実により減少傾向だったが、コロナ禍により増加の傾向  
県内では五泉市が今年から導入

